

表2 平成26年度 主要な特別重点品目・重点品目
・育成品目と特徴(水稻殺虫殺菌剤)

使用場面	主要な対象病害虫	品目名	有効成分	品目区分	特徴と品目概要
箱処理剤	いもち・虫	デジタルメガフレア箱粒剤	ピロキロン チアメトキサム	特別重点	デジタルコラトップアクタラのアクタラの成分を増加し、さらに特殊製剤により、箱で処理するだけで小型カメムシまで効果がある。
箱処理剤	いもち・虫	デジタルコラトップアクタラ箱粒剤	ピロキロン チアメトキサム	特別重点	特殊製剤により効果が長く持続するので、箱処理でいもち病と、初期害虫からウンカにまで効果を発揮する。低コスト剤であり、大型規格として手ごろな3kg規格が設定されている。
箱処理剤	いもち・紋枯・虫	嵐プリンス箱粒剤6, 10	オリサストロビン フィプロニル	特別重点	箱処理でいもち病・紋枯病と、初期害虫からウンカ、チョウ目、イナゴにまで効果を発揮し、効果が長く持続する。省力技術である播種同時処理もでき、大型規格もラインナップしている。
箱処理剤	いもち・紋枯・虫	嵐ダントツ箱粒剤	オリサストロビン クロチアニジン	重点	箱処理でいもち病・紋枯病と、初期害虫からウンカ、ヨコバイまで効果を発揮し、効果が長く持続する。
箱処理剤	いもち・虫	Dr. オリゼプリンス粒剤6, 10	プロベナゾール フィプロニル	重点	箱処理でいもち病と、初期害虫からウンカ、チョウ目、イナゴにまで効果を発揮し、効果が長く持続する。
箱処理剤	いもち・紋枯・虫	フルサポート箱粒剤	イミダクロプリド スピノサド チフルザミド トリシクラゾール	重点	箱処理でいもち病・紋枯病と、初期害虫からウンカ、ヨコバイ、チョウ目といった広い病害虫に効果を発揮する。
箱処理剤	いもち・虫	ルーチンバリアード箱粒剤	イソチアニル チアクロプリド	育成	新規の殺菌剤ルーチン（成分名イソチアニル）はいもち病に高い効果を発揮する。ネオニコチノイド系殺虫剤バリアードとの混合剤で、高い効果を発揮する低コスト剤。
箱処理剤	いもち・虫	アプライプリンス粒剤6,10	チアジニル フィプロニル	育成	抵抗性誘導いもち剤のチアジニルと、初期害虫からウンカ、チョウ目、イナゴにまで効果を発揮するフィプロニルを組み合わせた箱処理剤であり、製剤の工夫により播種同時処理が可能。
箱処理剤	いもち・虫	ジャッジ粒剤	プロベナゾール ベンフラカルブ	育成	徐放性のオリゼメートとオンコルの混合剤。いもち病への長い残効性と初期害虫が対象。初期害虫主体のいもち病発生地域で、低コストを実現できる。
箱処理剤	いもち・虫	ブイゲットプリンス粒剤6, 10	チアジニル フィプロニル	育成	抵抗性誘導いもち剤のチアジニルと、初期害虫からウンカ、チョウ目、イナゴにまで効果を発揮するフィプロニルを組み合わせた箱処理剤。
箱処理剤	いもち・虫	ブイゲットアドマイヤー粒剤	チアジニル イミダクロプリド	育成	抵抗性誘導いもち剤のチアジニルと、初期害虫からウンカ、ヨコバイまで効果を発揮するイミダクロプリドを組み合わせた箱処理剤。
箱処理剤	いもち・虫	ブイゲットプリンスバリアードL粒剤	チアジニル フィプロニル チアクロプリド	育成	抵抗性誘導いもち剤のチアジニルと、フィプロニル、チアクロプリドを組み合わせ、初期害虫からウンカ、ヨコバイ、チョウ目、イナゴにまで効果を発揮する箱処理剤。
種子消毒	かび・細菌	テクリードCフロアブル	イプコナゾール 水酸化第二銅	重点	種子消毒剤のトップ品目。ばか苗病などの糸状菌病ともみ枯細菌病などの細菌病の両方に効果を示す総合種子消毒剤。安価で使いやすい。
種子消毒	かび・細菌	タフブロック	タラロマイセスフラ バス	育成	糸状菌を成分とした微生物農薬。ばか苗病、いもち病のほか細菌病にも安定した効果を示し、土壌伝染性病害である苗立枯病にも適用がある。特別栽培農産物などに適している。
本田散布	いもち・紋枯	オリブライト1キロ粒剤	メトミノストロビン	育成	いもちの発生前の水面施用で安定した防除効果を発揮する。初発を確認してからでも効果を発揮（発生量が少ない場合）するので、発生状況を確認しながら使用できる。
本田散布	虫	スタークル1キロH粒剤	ジノテフラン	育成	斑点米カメムシ類、ウンカ類、ツマグロヨコバイにすぐれた効果を発揮する本田処理剤。
本田散布	虫	キラップ粒剤	エチプロール	育成	ウンカ類および大型のカメムシ類にもすぐれた効果を発揮する本田処理剤。出穂10日前の処理で安定した効果をしめす。
本田散布	いもち・紋枯・虫	イモチエースキラップ粒剤	エチプロール メトミノストロビン	育成	ウンカ類とカメムシ類にもすぐれた効果を発揮するキラップといもちや紋枯れに効果のあるイモチエースの混合剤。